

平成24年度 第2回 奈良県公共事業評価監視委員会 議事録

1. 日時 平成24年11月6日(火) 13:30~15:10
2. 場所 奈良県中小企業会館 大会議室
3. 出席者
 - ・委員(敬称略)
三野 徹、三浦晴彦、朝廣 佳子、紮井 憲、川真田 リエ
松井 淳(欠席)
 - ・奈良県 土木部次長、道路建設課、技術管理課

4. 議事

(1) 委員会の運営について

- 1) 平成24年度 公共事業評価監視委員の確認
- 2) 平成24年度第1回公共事業評価監視委員会 議事録の確認
- 3) 平成24年度再評価対象事業一覧説明

(2) 道路事業 国道169号 高取バイパスの再評価について

- 1) 再評価に関する説明(道路建設課)

2) 再評価に関する審議

(紮井委員)

奈良県はターミナル駅や幹線道路から東西へ繋がる道路が十分でないと感じている。この高取バイパスについては、京奈和道から吉野・飛鳥へ向けた観光産業道路という点から、完成すれば飛躍的に吉野・飛鳥への観光産業の流れが変わり、観光産業の発展に繋がるだろうと思います。是非早期に実現していただきたい。

(三浦委員)

資料4なのですが、カテゴリ分けの解釈として、積極的に進めたいと思っている優先度なのか、時間的に早く整備できるという優先度なのか、若干定義付けとして混じっているように感じます。このカテゴリ分けの解釈を再度説明いただきたい。

(道路建設課)

このカテゴリ分けの定義は、何かで決められているものでもありませんし、順位を表しているものでもありません。今回ご審議いただく案件数が多く、この中に

は様々な事業がありますので、当方の説明をご理解いただきやすくするように何か目安となるものということでこのようなカテゴリー分けをさせていただいたところ
です。

3) 意見集約

継続を妥当とする。

(3) 道路事業 国道369号 大保道路の再評価について

1) 再評価に関する説明 (道路建設課)

2) 再評価に関する審議

(三野会長)

地籍混乱でストップしていたが、やっと測量に入り、地籍を整理する見込みができたということで良かったでしょうか。

(道路建設課)

昨年度より用地測量に入っており、今年度いっぱい終わる見込みです。来年度には地籍整理を終了する予定です。

(三浦委員)

用地買収率が0%で、今から始まるということですが、だいたいどのくらいに用地買収が終わって、最終的に完成するのが予定としてどのくらいのタイムスパンを考えておられるのでしょうか。

(道路建設課)

資料では特に完成目標年次を明記しておりません。地籍整理の見通しがたったものの、用地買収の見込みがたっている段階ではありませんので、カテゴリーⅡのように具体的に何年度までに終わるといえることは言っておりませんが、平成30年代前半、できるだけ早期に完成できればとは考えております。ただ、用地交渉にご協力いただけるかどうかということもありますので、状況を見ながら事業進捗に尽力したいと考えています。

(紘井委員)

この事業区間にはどのくらい地権者がいらっしゃるのでしょうか。

(道路建設課)

申し訳ありません。この場にデータを持ち合わせておらず、今お答えすることができません。

(粕井委員)

了解しました、結構です。奈良市東部山間部を南北に繋ぐ唯一の幹線道路で、一般国道でありながら対向もできないという、こんな道路があるのだなというのが私の認識です。是非とも実現の方向でご尽力いただければと思います。

(三野会長)

この事業区間でボトルネックになっているということで、完成するとこれまでの投資の効果も発現するという事でよろしいでしょうか。

(道路建設課)

はい。

3) 意見集約

継続を妥当とする。

これから鋭意用地買収を進め、早期完了を目指して事業を進めていただきたい。

(4) 道路事業 県道桜井吉野線 百市工区の再評価について

1) 再評価に関する説明 (道路建設課)

2) 再評価に関する審議

(朝廣委員)

問題解決を検討した結果、工期も工費もこれだけ短縮、削減されるのは良いと思います。当初この案は用地買収の難航が予想されたことから、別ルートで考えられていたということでしたが、今回算出された工費には用地買収費用は含まれているのでしょうか。

(道路建設課)

この工費は用地買収費も含んだ費用です。当初は地権者に行方不明者がおられる等、用地交渉を進める上で課題が多いただろうということでしたが、山側の安全性の観点も重要ですので、用地交渉を粘り強く進めていきたいと考えています。

(三野会長)

資料では宅地の上を通過しているようになっているが、ここはすでに放棄された廃屋になっており、計画当初とは違い用地交渉は進めやすいと判断されていると。もう1点問題点は、河川を2つの橋で渡るルートとなっているが、河川管理者との協議はされているのでしょうか。

(道路建設課)

河川管理者との協議は行っており、本委員会にて(事業継続の)承認が得られましたら、地元にも本案を提示していきたいと考えています。

3) 意見集約

継続を妥当とする。

(5) 道路事業 県道大峯山公園線 中越工区の再評価について

1) 再評価に関する説明(道路建設課)

2) 再評価に関する審議

(三浦委員)

確認ですが、平成26年度で完了ということによろしかったですでしょうか。

(道路建設課)

はい。

3) 意見集約

継続を妥当とする。早急に進めて頂きたいと思います。

(6) 道路事業 県道檀原神宮東口停車場線 石川～和田工区の再評価について

1) 再評価に関する説明(道路建設課)

2) 再評価に関する審議

(三野会長)

この辺りも発掘調査をすれば文化財が出るのでしょうか。

(道路建設課)

発掘調査してみなければわかりませんが、既にも買収した用地の一部と未買収地に

おいてこれから調査をしていく予定です。

(鮎井委員)

ここは藤原京の一角として調査されているのでしょうか。

(道路建設課)

いいえ、事業を実施する際は必ず調査を行っています。

3) 意見集約

継続を妥当とする。早急に事業完了し効果を発現してください。ただし、文化財調査はしっかりお願いします。

(7) 道路事業 県道椿井王寺線 椿井工区の再評価について

1) 再評価に関する説明 (道路建設課)

2) 再評価に関する審議

(鮎井委員)

住民参加のワークショップというのは、行政からのご指導、あるいは自治会からの自主的な活動から繋がったものなのでしょうか。

(道路建設課)

行政側から道路計画を立案する際に、住宅地でもありますので地域住民の方と一緒に議論して線形を決めていったということでもあります。

(鮎井委員)

平成24年度中に地籍整備は完了できるのでしょうか。

(道路建設課)

地籍整備は平成21年度から行っており、今年度完了する見込みです。

(鮎井委員)

おそらく住民の方の立ち退き補償も発生するでしょう。排水路の上に鉄板を敷いて歩道にしているような、対向もできない道路だと記憶しています。大変かと思いますが、緊急を要する事業だと思いますのでできるだけ早期完成をお願いします。

(三浦委員)

平成22年度に既存の道路幅員内で境界ブロックやポール等の応急的な安全対策を実施したということだが、この事業の費用で実施されているのでしょうか。

(道路建設課)

はい。現道でできる範囲での安全対策を実施したもので、大きな費用のかかるものではありません。

(三浦委員)

現状で危ないところは、ガードレール等を設置するのは難しいのでしょうか。整備までに時間もかかるので、現状でさらなる安全対策を整備とは別費用で実施しているという認識でよいのでしょうか。

(道路建設課)

はい。

(三野会長)

この安全対策が手戻りになったりはしないのでしょうか。

(道路建設課)

暫定的な歩道空間を確保している部分では手戻り部分もありえますが、簡易な道路付属物でありますので、あまり大きな額ではなく、むしろ現状の安全確保を行うべきと考えています。また用地買収できた部分については少しずつでも順次整備を行っていこうと考えています。

(三野会長)

この安全対策で行った費用は事業費ではなく、道路の維持管理費とは言えないのでしょうか。

(道路建設課)

どの費用としてみるというようなルールはありません。この区間については事業化された区間ですので、この安全対策も事業費として試しています。

(朝廣委員)

事業目的、必要性はよくわかりましたが、このようにできあがった住宅地内の道路を拡幅するのは大変難しいと思います。この道路の交通量が増えたのはなぜでし

ようか。通り抜け道路となっているのか、他に迂回路案はなかったのか検討されたかといったところが聞きたいと思います。

(道路建設課)

エリアとしては、国道25号がよく混雑している地域です。168号も交通量が多く、25号へ行かずこの道へ流入しているのかと思われます。このような中で、この道路の安全性を少しでも高めるための事業と考えています。

(朝廣委員)

本審議とは関係ありませんが、まちづくりを計画する際にこういったことも考慮されておれば良いと感じました。

(川真田委員)

先ほどの説明への補足になるのですが、私はこの道をよく通るのですが、25号はよく込んでいますし、王寺から生駒方面へ通過する際の抜け道として利用されていると思います。実際に道幅は狭く、歩道とはブロック等で分離されているのですが、慣れない車が中央に寄って走ってきて危ないと感じますので、可及的速やかに事業を実施していただきたいと思います。

(紘井委員)

開発当時の状況を存じておりますが、当時信貴電鉄の走る王寺周辺で大規模住宅開発プロジェクトが続いていました。その住宅街の周辺に量販店が形成され、住民の行動線が外へ外へと動いていきました。その結果、当初の計画よりも数十倍も大きな街になってしまったというのが現状の問題点のひとつです。もう1点、先ほどお話しありましたようにこの街の近くを25号が大阪と奈良を行き来するのですが、竜田川沿いの道から25号へ入る道が混雑するために、この住宅地を抜けていきます。当初予想されなかった地域開発の波がまともにこのような問題となって現れたと認識しています。

3) 意見集約

継続を妥当とする。できる限り進捗度を早めて、完成の目処がつくまで努力していただきたい。

(8) 道路事業 県道橿羅御所線 橿羅工区の再評価について

1) 再評価に関する説明 (道路建設課)

2) 再評価に関する審議

(三野会長)

この未買収地が完成しなければ事業の効果も発現しないということで、現在この未買収地についても地権者と用地交渉に入ることができる状況になったことで大きな課題はなくなったということによろしいでしょうか。

(道路建設課)

はい。

3) 意見集約

継続を妥当とする。